

印西地区ごみ処理基本計画 ごみ減量施策案

委員名 岡野 三之

■収集

- ① ごみの各戸収集検討（東京 23 区他で実施中）
- ② 集団回収の報奨金・協力金等の増額
- ③ 資源持ち去りの調査・防止

■普及啓発

- ① 幼稚園・小学生用啓発冊子発行と出張教育
- ② 教育委員会、教師への啓発
- ③ ごみ・資源物の処理・再生過程の見学
- ④ 各種イベントでの啓発展示、ポスター展
- ⑤ 次期施設の P R を積極的に実施
- ⑥ 若年層（アパート等）への啓発は大家さんと協力
- ⑦ 関係自治体のホームページとリンクして各種データ
（ごみ量の推移、排気ガス情報、発電量、ごみ処理経費等）を
毎月掲載

■リユース促進

- ① 展示プラザの P R、インターネットで展示物が見られ

購入申し込みをできるようにする

②組合と市民協働のフリーマーケット

■生ごみの減量化（ごみ質の改善）

①新規開発マンションへの生ごみディスポーザ設置義務条令

②生ごみ処理機購入助成金のアップ

③堆肥化研究

④容リプラ分別回収をやめてその経費を生ごみ削減に廻す。

■その他

①これからの中間処理施設では高効率発電採用の可能性が高いことから、処理基本計画ではごみ質の改善とごみ量の確保が重要となる。従来型の基本計画より進化したものを検討しなければならない。その具体的一歩として、プラスチック容器包装のリサイクルは印西地区処理施設においてサーマルリサイクルすべきである。詳細提案を作成中